

腹部領域

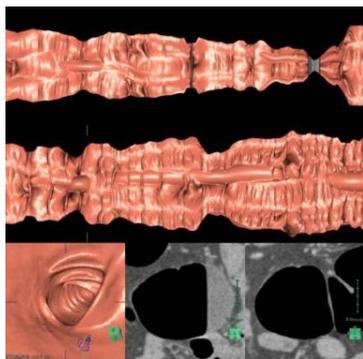
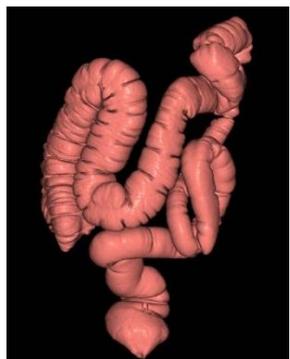
腹部のCT検査では、肝・胆・膵腎・脾臓や消化管などを調べます。
また腹痛の原因検索や慢性疾患の経過観察などを行います。



腹部 横断像

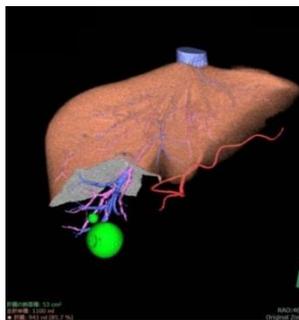


腹部 冠状断像



CTコロノグラフィ(大腸3DCT)

大腸を炭酸ガスで拡張させてCT撮影を行い、画像処理することで、内視鏡や注腸のような画像を作ることができます。
検査の際は、内視鏡検査と同じように前処置が必要ですが、検査は短時間で終了し、苦痛も少ないと言われています。



肝臓解析

肝腫瘍に対する肝切除手術前にCT検査を行い、肝臓解析を行います。手術では動脈・門脈・静脈・胆管と腫瘍との関係が重要であり、肝臓解析を行うことで詳細かつ正確な解剖の把握が可能となります。